

問1 温度計の目もりを正しく読むとき、目の高さはどこに合わせますか。

1. 温度計の一番上 2. 温度計の一番下 3. えきの先 4. 液がたまっている丸い部分^{えき}

問2 同じ場所に立っているいくつかのものに太陽の光が当たるとき、できるかげの向きについて正しいものはどれですか。

1. どれも同じ向きにできる。 2. ものの形によってちがう向きにできる。 3. ものの色によってちがう向きにできる。 4. ものの大きさによってちがう向きにできる。

問3 太陽が南の空を通るとき、太陽の高さはどのようにになりますか。

1. 高いところを通る 2. 高さ^かが変わらない 3. 低いところを通る^{ひく} 4. 地面の近くを通る

問4 日光（にっこう）が当たっている場所は、日光が当たっていない日かげとくらべて、どのようなちがいがありますか。

1. 風が強い 2. 暗い 3. あたたかい 4. つめたい

問5 温度計を使って空気のあたたかさはかったとき、温度の表し方として正しいものはどれですか。

1. 20 cm 2. 20℃ 3. 20秒 4. 20 g

問6 日光をさえぎるものがあるとき、太陽と反対側^{はんたいがわ}にできる暗い部分のことを何といいますか。

1. かげ 2. かげ 3. あかり 4. ひなた

問7 地面にできたかげが、時間がたつと動くのはなぜですか。

1. 太陽が動くから 2. 風がふくから 3. 地面が動くから 4. 雲が動くから

問8 えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかるために使う道具の名前は何ですか。

1. しゃ光ばん 2. 方位^{ほうい}じしん 3. 虫めがね 4. 温度計

問9 かげができるのは、どのようなことがおこったときですか。

1. まわりの温度が急に下がったとき 2. 日光をさえぎるものがあるとき 3. 太陽の光がすべて消えてしまったとき 4. 日光がさえぎられずに通りぬけるとき

問10 校庭に、棒（ぼう）や木、人間など、いろいろなものが立っています。太陽の光が当たったとき、これらのかげの向きはどうなりますか。

1. 背^せが高いものと低い^{ひく}もので向きが変わる。 2. 立っている場所によってバラバラの向きになる。 3. すべて同じ向きにできる。 4. 生き物とそうでないもので向き^かが変わる。

問11 北に顔を向けたとき、右がわが東、左がわが西になるような、方向をあらわす言葉を何といいますか。

1. ほうい 2. かげ 3. じかん 4. おんど

問12 日光が当たっているところのことで、地面が明るく、あたたかくて、かわいている場所を何といいますか。

1. 日食 2. 日なた 3. 日かげ 4. 夕やけ

問13 理科の学習で、あたたかさを表す「温度」を書き表すときに使う、「℃」という記号はなんと読みますか。

1. センチメートル 2. びょう 3. ど 4. グラム

問14 太陽（たいよう）から出ている光のことを、何といいますか。

1. 月光（げっこう） 2. 電^{でん}灯^{とう}（でんとう） 3. 星の光（ほしのひかり） 4. 日光（にっこう）

問15 太陽を直^{ちよくせつ}接見すると目をいためてしまうため、しゃ光板を使うのはどのようなときですか。

1. 方角を調べるとき 2. 太陽の動きや形^{かんざつ}を観察するとき 3. かげの長さを調べるとき 4. 日なたと日かげの温度^{くら}を比べるとき